



校長室から

～家族の好循環～

校長 市丸 佐緒里

この夏は、4年に一度開催される世界的なスポーツの祭典『オリンピック・パラリンピック』と高校生最大のスポーツの祭典『北部九州総体（長崎を含む7県）』が開催されました。選手が全力で競技に挑む姿を観戦し、心が躍動し感動する場面が多くありました。

中でも、選手のコメントにたびたび登場する**家族**の存在は、強靱な心身や技を極める厳しい練習のとき、試合前の緊張に押しつぶされそうなとき、敗者復活から気持ちを切り替えるときなど、苦しく辛いときの最大・最強の心の支えであり、勝利の喜びも一番分かち合いたい存在でした。

はて？家族とは・・・NHK連続テレビ小説「虎に翼」の一つのテーマとなっている家族。主人公の母親が、子どもに対し「間違いに気づかせてくれてありがとう」「自分もできていないことをあなたに強く求めすぎてごめんなさい」とのシーン。改めて家族であっても、「ありがとう」や「ごめんなさい」の言葉をかけたり、家族だから言わなくてもわかると流さずに、互いの思いや考えを言葉で伝えることで、家族の信頼と絆が深まる好循環が生まれるのだと思いました。喜びも苦しみも共有できる家族の存在は本当にありがたいものです。

【先輩からのバトン！】 創立50周年企画 ～第5弾～

今回は第37回卒業生 原田翔平さん（原田総建勤務）原田麻衣さん（平戸市役所勤務）ご夫婦にお話しをお聞きしました。中高時代の6年間で5年間同じクラスだったお二人は、平高時代の思い出を「楽しかった～。先生方の愛情が深かった～」との第一声。ご主人の翔平さんは福祉生活系列・柔道部に、麻衣さんは情報ビジネス系列・ソフトテニス部に所属し、それぞれ資格取得と部活動に努力し、友人・先生に恵まれた充実した3年間だったと振り返られました。卒業後、麻衣さんは県外に進学し平戸を離れていましたが、帰省した際に地元の仲間と集まる中で、自然に互いを意識し、21歳でご結婚。現在は、9歳長女・7歳次女・5歳長男の3人の子どもと両親・祖母の三世家族で生活されています。子育て真っ最中のお二人が、親として大切にしていることは、①子どもファースト②夫婦で相談し協同で子育てすること③子どもの自主性を育み全力で応援すること④伸び伸びした子育てを実践することでした。また、麻衣さんは地元のすべての子どもたちが楽しく生活できることを願って、小学校PTA・子ども会活動など積極的に活動されています。お二人とも少し照れながらのインタビューでしたが、夫婦共通の趣味や夢をもって、仕事・家庭・地域で明るく前向きに頑張りながら、さりげなくお互いを支えリスペクトされる素敵な平高同級生♡のご夫婦でした。

ご協力ありがとうございました。

【後輩へのエール】

学校や社会のルールを守りつつ、高校生という貴重な青春時代にたくさんの思い出をつくってほしい。「ちゃらんぼらん」も今のうち！！



前期クラスマッチ

7月18日(木)、前期クラスマッチを開催しました。男子は、バレーボール、女子は、バドミントンで勝敗を競いました。試合前にはクラス全員で円陣を組むなど、クラスの団結と親睦を深める機会となりました。



オープンスクール

7月22日(月)、オープンスクールを開催しました。35名の中学生、保護者の方に参加していただきました。系列説明や体験授業、部活動紹介という内容で、中学生と一緒に活動したり、教室案内をしたりと平高生も学校の良さを伝えようと熱心に取り組みました。



部活動大会報告

県高校ソフトテニス選手権島原大会

- 吉田・末吉ペア 1回戦敗退
- 松田・松本ペア 2回戦敗退
- 伊藤・山内ペア 1回戦敗退
- 堤・江口ペア 2回戦敗退
- 上田・小川ペア 3回戦敗退 (ベスト64)



サッカー部 全国高校サッカー選手権大会長崎県大会県北地区予選

- 対 猶興館・佐世保商業 1-0 勝
- 対 佐世保高専 3-0 勝
- 〈代表決定戦〉
- 対 清峰 2-3 負
- 対 佐世保西 0-3 負

